



Change! 2022 ニュース

No. 35

Change! 2022 推進委員会 2022. 5. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「徳は孤ならず必ず隣あり」

あずさ部部长

長谷川 あや子 (東京八王子)



1997年に発足したあずさ部は日本区時代の北東部、南東部からの9クラブ(甲府、東京山手、東京武蔵野、東京西、東京多摩、松本、東京サンライズ、甲府21、東京八王子)でスタートしました。新宿～松本を

結ぶ特急あずさ号に因んでの命名です。その後、合併や解散したクラブもありましたが、新たに東京たんぼぼYサービス、富士五湖、長野が設立され、現在は10車両で走っています。

評議会や部大会はミニ旅行といった趣きです。評議会はクラブ輪番制でホストをしますので、ホストクラブは趣向を凝らして準備をいたします。時節にあった冠名を思いを込めて付けますし、以前は評議会後にエクスカッションもあり、おかげで沢山の思い出ができました。遠さはマイナスではなく大いなる恵みです。遠くに親戚がいるといった感じを今も持っています。

甲府クラブはあずさ部の中でもどっしりした長兄の威厳を備えています。周年行事には新クラブ設立を目標に掲げ、今までに松本クラブ、甲府21クラブ、富士五湖クラブ、長野クラブを設立されました。そして2019年、創立70周年の記念事業として新クラブ設立を目指しました。設立準備の最中にコロナ禍にあい、歩みを止められたこともありましたが、胸の火を絶やさず「甲府やまなみクラブ」の名を掲げ、1月、3月、4月に仮例会を持ち、6月には設立総会の予定です。

甲府クラブ40周年の時に生まれた甲府21クラブは2020年に創立30周年を迎えましたが、東日本区の中でも最大の会員を擁するクラブに成長しました。新しい

人が新しい人をお誘いするという動きが活発です。お客様を心から歓迎する雰囲気と、クラブにいろいろなCS活動があることが、友人、知人を積極的に誘う力となっているのでしょう。

松本クラブでは最近、若い方が入会しました。その方はYMCAのボランティアリーダーをしていた時、ワイズにとってもお世話になったので、いつかワイズに入会したいと思っていらしたそうです。松本に帰郷し、ご自分で松本ワイズメンズクラブの戸を叩いたと伺っています。

第4回ワイズ・ナイトフォーラムでは、第二部をあずさ部で担当いたしました。「あずさ部のCS活動」として、甲府、東京サンライズ、甲府21、東京八王子、富士五湖クラブのCS活動を紹介、パネルディスカッションで意見交換をいたしました。多くの方の協力によって創り上げることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度の私の部長主題は「道を拓く～愛と協力によって」です。コロナ禍にあつて、どのクラブも活動に支障をきたし、思うに任せぬ状況ですが、思いやりの心を忘れず、手を携えて共に励み、道を切り拓いて行きたいという思いをこめました。

「徳は孤ならず必ず隣あり」は論語の中の言葉ですが、徳のある人、又はその行為は孤立することなく、その感化を受けて行動する人を生み出し、必ず理解者と協力者が集まる・・・という意味です。ワイズメンズクラブの真価はここにあり、と思えました。

真摯に道を拓き、種まきをしてまいりましょう。

《 長谷川あや子さんのプロフィール 》

1948年3月19日	東京都豊島区生まれ
1997 - 1998年度	東京八王子クラブ入会
2003 - 2004年	クラブ会長 (15-16年も会長)
2005 - 2006年	あずさ部CS事業主査
2009 - 2010年	東日本区書記(原 俊彦理事年度)
2011 - 2012年	東日本区地域奉仕事業主任
2018 - 2019年	東日本区会計(宮内友弥理事年度)
2021 - 2022年	あずさ部部长

▼ **ワイズ・ナイトフォーラム**

「第5回 ワイズ・ナイトフォーラム 報告」

Change! 2022 推進委員

榎本 博 (伊東)



皆さんは「Y's Night Forum」を知っていますか？ 2021年9月19日に始まり、すでに5回開催されています。

第5回は2022年4月16日(土)の20時から開催され、68名(東西日本区含む)の参加者がありました。このワイズ・ナイトフォーラムの目的は二つあると考えます。コロナ禍の中、社会ではソーシャル・ディスタンスが求められ、人と人の物理的な距離だけでなく、心理的な距離も離れようとしています。このフォーラムで共通の時間をもち、新しい交流のきっかけとなればと考え、企画されています。第1部では、身近で参考になるようなテーマで、多様な卓話者による講演。第2部では、私たちワイズメンズクラブの奉仕活動をパネルディスカッションの形で紹介します。

もう一つの目的は、ワイズメンズクラブを知らない非会員(一般の方々)に、このフォーラムに参加して頂き、ワイズ活動を紹介し、会員増強を推進する事です。ぜひ一度、参加していただき、今後のワイズ活動の参考・会員増強のスパイスにして頂ければと思います。前置きが長くなりましたが、「第5回ワイズ・ナイトフォーラム」の報告をさせていただきます。

第1部の卓話者は、江夏一彰さん(*1)。「コロナ禍でも活きる・・・」のテーマでお話を頂きました。あまりにもタイムリーで現実的なお話でしたので、みな聞き入っている事がうかがえ、質疑も多く、もっと聞きたいと思える素晴らしい卓話でした。

(*1)江夏一彰さん

プロフィール

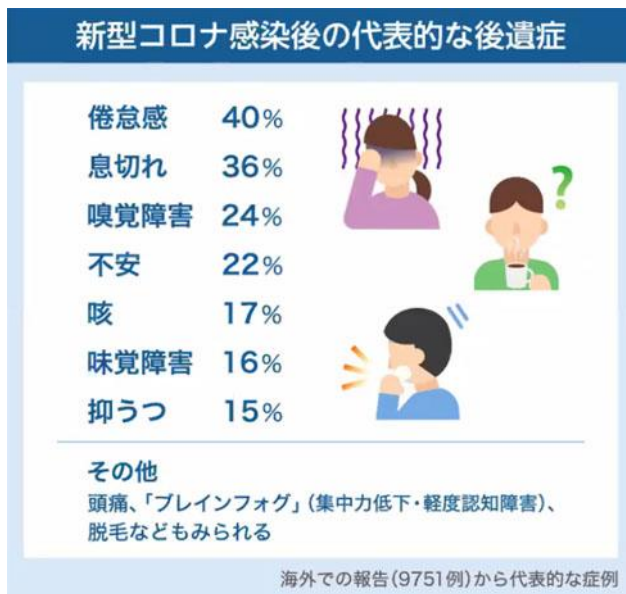
2012年に長野クラブに入会后、2017年7月に東京武蔵野多摩クラブに転入会。現



在は歯科医師として東京都立多摩総合医療センターに勤務。また2012年に日本聖公会執事、2017年に司祭となり、長野県で複数の教会の牧師として従事。

上田市の 聖ミカエル保育園園長としても活動されています。その他にもNPO 法人など多方面において活躍されています。

検査の種類	目的	採取する検体	判定時間
PCR検査	検査時点で感染しているかを調べる	鼻咽頭ぬぐい液 糞便 血液など	数時間～数日
抗原検査	検査時点で感染しているかを調べる	鼻咽頭ぬぐい液 糞便 血液など	30分～数時間
抗体検査	感染したことがあるかどうか(感染歴)を調べる	血液	数時間



【江夏一彰さんの卓話で使われたスライドより】

第2部のパネルディスカッションは、大久保知宏理事(宇都宮)が自らファシリテーターを務め、北東部の活動を進行されました。

もりおかクラブは、三田庸平 Ys がパネラーとして被災地支援の活動を報告。1週間宮古で生活し、現状把握したり、必要に応じて被災したお宅の片づけ・ボランティアセンターの拠点(教会)の片づけなど、YMCA と協力して継続的に街の復旧活動に努めてこられました。今後はワイズメンズクラブとして地域が明るくなるように活動していきたいとのこと・・・。

石巻広域クラブは、【3.11 子ども文庫】津波被災地の児童に3.11のできごとを「文庫活動を通して伝え、子どもたちの居場所を創り出す」。【石巻平和七夕】世界各地で発生している戦争や紛争、自然災害に直面されている方々との連帯。3.11復興支援への感謝と被災地の一日も早い復興を祈る。【3.11 メモリアルプロジェクト】魅力ある地場産品の市場開拓支援と義援金。【思い出

のランドセルギフト・プロジェクト】国際連合が主導している SDGs に合わせ、継続的に児童の教育機会を援助し、経済的・社会的弱者の支援を行う。またワイズの活性化と他団体とも協働し、社会貢献を目指す。

【YMCAストレッチヨガ教室】復興団地住民の健康の増進を図り、引きこもりや孤独死などを防ぎ、新たなコミュニティづくりの一助。【石巻と神戸をつなぐチャリティーコンサート】神戸市と石巻市にて同時にミニコンサートを開催し、両会場をネットをつなぎ、現地の子どもたちにエールを届ける、などを日野峻 Ys、川上直哉 Ys、清水弘一 Ys がそれぞれ報告されました。仙台青葉城クラブの菊地弘生 Ys は、仙台4クラブ連絡会議(仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域)、東日本大震災支援活動と CS・Y サ事業について話されました。



仙台広瀬川クラブは、菅野健 Ys がメネット会による活動の一つ【エプロンシアター】を報告。語り手が着用しているエプロンを物語の舞台として活用した人形劇用のエプロンと人形を作成。YMCA 保育園や幼稚園・児童館に寄贈している。【日本語でプレゼンテーション】ネパール、ベトナム、バングラデシュ出身の留学生が日本に来て驚いた事や、日頃考えている事を日本語で発表し、留学生と日本人の相互理解と異文化の交流を深める機会とする、などなど、北東部の皆さんから多くの活動を紹介して頂きました。YMCA と協働する事でクラブ単独では難しい活動も実施できるんだ・・・、クラブ合同での活動だってありなんだ・・・、と自分自身、学ぶことの多い第5回 Y's Night Forum でした。

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)

4月には、下記の方が入会されましたので報告します。

No.	新入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	和田 健一	(茨城)	担当主事交代
2.	中田 純子	(甲府)	担当主事交代

3. 小松 康広 (東京江東) 担当主事交代
4. 薩摩 藤太 (横浜とつか) 担当主事交代
5. 由井 卓哉 (東京むかで) 担当主事交代

▼ 第7回 拡大EMC委員会 報告

会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)



日時：2022年4月27日(水)

19:00~20:30

場所: Zoom 会議 出席者: 17名

《EMC事業委員会=委員長、委員、部長、会員増強事業主査、エクステンション委員長(EXT)》10名、《Change! 2022推進委員

会》7名

【次第】

議事① 活動報告書の件

・活動報告書は、北海道部:1クラブ、関東東部:6クラブ、あずさ部:5クラブ、富士山部:5クラブ、その他の部は0でした。

・「動画で分かるワイズメンズクラブ」の4月のアクセス数は、宇都宮:1回、熱海:8回でした。

初回から4月までのアクセス数 1,146回、平均滞在時間 1分10秒、動画再生回数 367回です。

議事② 各部の報告(各部長、エクステンション委員長)

北海道部: コロナの影響で例会をあまり開催できない。札幌クラブ、札幌北クラブ、十勝クラブは開催しているが、北見クラブは1月に開催しただけ。4月29日(金・祝)に北海道部部大会を札幌にてハイブリッドで開催する。

北東部: 4月開催のナイトフォーラムでパネルディスカッションを担当させてもらい、お陰様で北東部のクラブ間の連携が出来た。その関係で次期の部内の会長までのLINEグループが出来上がりました。エクステンションに関しては中々芽が出てこない。宇都宮クラブはWeek4Wasteと例会はリアルで集まる事が出来た。

関東東部: 132名でスタートして2回の評議会と部大会を開催してきた。コロナの影響で各クラブの活動が思わしくなかった。会員増強事業としては4月2日(土)に「EMCを考える集い」をZoomにて「笑顔でもっと楽しくクラブ活動」と言う関東東部のモットーのもと、フレッシュワイズメンをパネラーに、ワイズメンズクラブに

入ったきっかけ、入会してどう思ったかをテーマに、ディスカッション形式(ワイズに入って良かった所、期待外れだった所、今後に期待する所、など)で開催した。(参加者 46名)。

エクステンションについては、牛久の新クラブ設立を目指しているが、今期は無理なので、次期に設立をすべく頑張っていきたいと思う。

東新部:4月23日(土)に第3回の評議会を開催した。また各クラブにおいては、コロナの影響でオンライン例会が主流になっている。新潟と新宿に新クラブを作り、東新部を7クラブから9クラブにしたい。

あずさ部:後期は171名でスタートして甲府クラブと甲府21クラブに1名ずつ入会して4月現在173名。5月7日(土)に富士五湖クラブ主催の第11回フライングディスク大会が開催される。5月14日(土)には第3回あずさ部評議会がリアルのみで開催される。(現在54名参加予定)

甲府やまなみクラブの設立総会を6月11日(土)18時に甲府の北口にある藤村記念館で開催する。収容人数に制限(40名)があるので、甲府クラブ10名、新クラブ10名、残りを東日本区とあずさ部の役員、あずさ部の会長の方々に招待状を発送する。チャーターナイトは秋口に予定。文京アフタヌーンクラブは現在進行中。

湘南・沖縄部:後期は83名でスタートし、3月に横浜つるみクラブで1名入会して現在は84名。4月25日(日)にエクステンション委員会をZoomにて開催、沖縄YMCA、横浜YMCAの拠点に新しいクラブを設立するために2チーム作り、準備委員会を開催。スケジュール的に遅れは有るが、着実に一步一步進んでいる。川崎の保育園の一角で、土曜日の午後に絵本コーナーを作って園児と保護者の居場所を提供し、そこでの交わりを通して保護者あるいは友人、知人を中心に新しいクラブを作りたい。

富士山部:後期150名でスタートし4月27日現在で149名。エクステンション委員会は今期開くことが出来ませんでした。

議事③ ワイズ・ナイトフォーラムの件

- ・第5回ワイズ・ナイトフォーラムが4月16日(土)に開催され、参加者68名
- ・第一部の卓話は『コロナ禍でも生きる・・・』のタイトルで、医師で牧師の江夏一彰氏(東京武蔵野多摩)にコロナに関する話をして頂きました。

・パネルディスカッションは、大久保知宏理事にファシリテーターを努めて頂き、北東部の5クラブからの報告をして頂きました。

・第6回ワイズ・ナイトフォーラムを6月25日(土)に開催いたします。卓話は、ユースアクション2022で選ばれた1グループに卓話をしてもらおう。

・グループは埼玉YMCA所沢センターと所沢クラブが推奨したNPO法人「サラマットA アンド フィリピンズ」で、「スカイライト・プロジェクト」。内容は、『ともに希望の絵本・ともに奏でる教科書・海をこえて届ける!』という活動をしています。

・第2部のパネルディスカッションは東京多摩みなみクラブの単独で行います。内容は、『オンライン・プランター講座について～コロナ禍で生まれた地域奉仕事業～』



【第7回拡大EMC委員会のZoom画面】

《入会候補者向けにワイズの魅力を紹介!》

ワイズ・ナイトフォーラム

第6回 6月25日(土) 20:00~22:00 Zoom

卓話者: NPO法人 SalamatA & Philippines
Sky Light Project (PSP)

『ともに希望の絵本・ともに奏でる教科書・海をこえて届ける!』

パネルディスカッション: 東京多摩みなみクラブ
『オンライン・プランター講座について
～コロナ禍で生まれた地域奉仕事業～』

下記は参加用アドレス、下は参加申込 QR コード

<https://us06web.zoom.us/j/86832303212?pwd=d3NVQkNYMONIKOZEaXRONEFuaVVvUT09>

